

# 令和4年度 せたがやCo-Labの取組み実績



政策経営部  
経営改革・官民連携担当課

# 「せたがやCo-Lab」概要

官民連携の提案窓口『せたがやCo-Lab（せたがやコラボ）』では、庁内外からの官民連携の提案を随時受付中。

## 【提案方法】

### ①民間提案型

民間企業等からの自由な提案を随時募集。提案内容を区との協議の上、連携事業を実施。



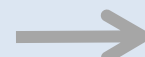
民間企業等  
から提案



区（せたがやCo-lab  
担当）で受付



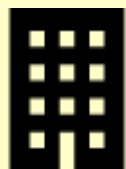
対話の実施



事業の実行

### ②テーマ設定型

区が連携を望む事業に対して、民間企業等の提案や参加を募集し、提案内容を区と協議を経て実施。



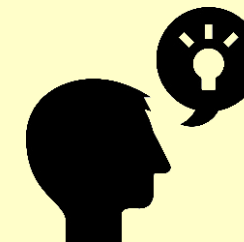
区HP上で協力企業  
を募集



区の募集内容に対し、  
民間企業等が提案・申請



対話の実施



事業の実行

# 令和4年度提案窓口を通じた取組み実績

※令和5年3月末時点



民間提案型実施件数

72 件

※昨年度までに受けた提案  
からの実施件数 5 件を含む

R3:65件 | R2:58件



今年度検討した  
民間提案型件数

170 件

※昨年度までに受けた提案  
46 件を含む

R3:139件 | R2:216件



民間提案型  
新規対話団体数

36 団体

R3:38団体 | R2:34団体



テーマ設定数

4 件

R3:4件 | R2:4件



サウンディング調査

1 件

R3:4件 | R2:0件



包括連携協定数(企業)

1 企業

(累計 5 企業)

# 官民連携事例①

## 包括連携協定の締結（第一生命保険株式会社）

令和4年12月5日に、第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結した。

保険事業に関するサービスを通じて培った専門知識・ノウハウや地域資源、顧客とのネットワーク等、第一生命が持つ知見や強みを活かした連携を継続的に進めることにより、幅広い分野で新たな発想による公共サービスを創造していく。

包括連携協定の対象は、健康・福祉分野を始めとして多岐にわたるが、「地域活性化に関すること」では、第一生命保険株式会社が給田に所有する第一生命グラウンドを「SETAGAYA Qs – GARDEN」と名付け、「地域の方々のウェルビーイングを高めるまちづくり」を進めており、本グラウンド内の様々な施設を活用した多方面での区民サービスの向上が期待できる（令和5年3月25日にまちびらき）。



# 官民連携事例②

## 池之上青少年交流センターのバスケットボールコート 無償改修プロジェクト (ゴールデンステイト・ウォリアーズ×楽天グループ株式会社)

アメリカプロバスケットボールリーグNBAのチームであるゴールデンステイト・ウォリアーズが、パートナーシップを締結している楽天グループ株式会社を通じて、日本国内でのバスケットボール普及と社会貢献を目的として、池之上青少年交流センターの屋外コートを、バスケットボールがしやすいように無償改修し、イベントを実施した(9月21日、10月1日、2日)。



## 行政手続オンライン化推進に向けた連携協定 (凸版印刷株式会社)

行政手続のオンライン化を推進し、行政事務の効率化や区民サービスの向上を目的に、凸版印刷株式会社と連携協定を締結した(12月20日)。

オンライン申請と紙申請のどちらに対しても効率的に対応できる業務フローを確立することで、区の申請受付業務の最適化と職員負担の軽減に向けて取組む。

また、凸版印刷のデジタルツールを活用し、送達履歴を可視化するなど、申請手続き全体の「見える化」等を目指して実証実験を行い、住民サービスの向上に向けて取組んでいく。



# 官民連携事例③

## 環境啓発事業「トレイマット デザイン コンテスト」の開催 (日本マクドナルド株式会社×多摩美術大学)

気候変動に対して一人ひとりが始められるアクションを促すことをテーマに、多摩美術大学の学生がマクドナルド店舗で使用されるトレイマットのデザインを作成。区主催イベント「若者環境フォーラム」で発表するとともに、区民等を対象にオンライン投票を実施。2,000以上の票が集まり、最優秀賞・優秀賞を選出。また、特別賞として世田谷区環境政策部長賞を選出した。

### ▼オンライン投票用ポスター



### ▼最優秀賞作品

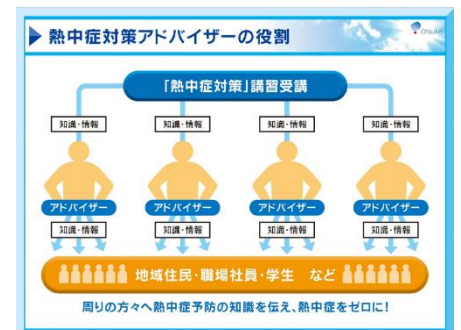


最優秀賞に選出されたデザインを用いたトレイマットは、区内のマクドナルド全店舗で使用された（12月16日～22日）。

## 「熱中症対策アドバイザー」養成講座の実施 (大塚製薬株式会社)

区職員が熱中症や熱中症予防に関する知識を学び、職務において、職員自身を含めた周囲への熱中症予防行動に寄与することを目的として、熱中症対策アドバイザー養成講座（オンライン）を開催（7～8月）し、85人がアドバイザーとして認定された。

令和3年度に締結した連携協定に基づく取組みとして、無償での実施となった。



# 官民連携事例④

## 区内企業の健康経営優良法人取得支援及び健康に配慮したメニューの栄養基準の確立に向けた取組み（株式会社オオゼキ×大塚製薬株式会社）

連携協定を締結している大塚製薬と区が協力体制を構築し、区内企業のオオゼキの健康経営優良法人取得に向けて、メンタルヘルズ講座（7月）や社員向けの健康に配慮した弁当の開発（8～10月）などを実施し、健康経営の取組みを支援した。

今後は、区として健康に配慮したメニューの栄養基準を設定し、この基準を活用した取組みの展開に向けて区内事業者、店舗等へ働きかけていく。



メンタルヘルズ講座



健康に配慮したメニュー  
マーク（案）



社員向け「野菜がたっぷり摂れる弁当」

## ラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」の試合への区民招待（株式会社リコー）

「NTTジャパンラグビーリーグワン2022-23」に参加している、世田谷区を本拠地とする株式会社リコーのラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」がホームゲームに、1,000組2,000人の区民を無料招待（令和5年1月21日、駒沢オリンピック公園陸上競技場）。



### 招待企画のご案内

【対象試合】2023/1/21(土)13:00kick off  
NTTジャパンラグビーリーグワン2022-23  
リコーブラックラムズ東京 vs 埼玉パナソニックワイルドナイツ  
@駒沢オリンピック公園陸上競技場

【対象】世田谷区在住の方  
【招待人数】1,000組 2,000名  
【応募URL】 <https://forms.office.com/r/EhcTuV5SpJ>  
【応募締め切り】2023/1/6(金)18:00  
【当選発表】2023/1/11(水)18:00ごろ



区と株式会社リコーは、地域の活性化を目的とした相互連携・支援協力に関する協定を締結している(令和2年度)。